文化資料館調査研究報告(21)：119-130,2012

茅ヶ崎の方言について

須藤　格(*)

1　はじめに

地域性を表象するものの一つに、特定の地域において用いられることばの体系を示す「方言」がある。方言は、一つ一つの単語ではなく、ある地域で通用していることば全体を示す。音韻、アクセント、文法、語彙を含めたものをいう。

方言の研究においては、調査結果の体系化を図り、その結果が全国のどの方言区画に位置づけられるかを明らかにすることが求められる。そのためには、地域で採集されたことばの、音韻、アクセント、文法、語彙といった分類による詳細な研究が必要であり、膨大な時間と言語学からのアプローチも求められる。特に音韻、文法に関しては日本語への深い造詣も求められることから、本稿においては、可能な限りにおいて文法や音韻等の特徴の把握を行い、他地域の方言との相対比較による研究の素材の提示にとどめることとする。

なお、本稿において報告するデータソースは、明治時代以降～昭和初期に生まれた茅ヶ崎在住者を対象に、当館が市民ボランティアの協力を得て行った聞き取り調査で記録・保存された映像・音声・文字資料から抽出したものである。

2　神奈川県における方言の研究について

現在の神奈川県、旧武蔵国の一部と相模国で用いられていたことばについて関心が最初に寄せられ、記録されたものとしては、万葉集[i]の東歌に遡ることができる。東国の歌を集めたものが巻十四を構成していることが、一つの言語圏としてとらえていたことを示していると考える。源氏物語[ii]の「東屋の巻」において「声などほとほとうち歪みぬべく（声がゆがむ)」、「すこしだみたるようにて（ことばがなまる)」といった記述がみられる。

相模という国名をあげて実例を記載したものでは、俳諧師越谷吾山が1775年に発刊した『物類称呼』[iii]がある。武蔵国と相模国のことばが約１００語掲載されている。その後、江戸時代においては相模のことばにおいて記述がなされたものはない。

1902（明治 2）年に明治政府下の文部省によって行われた方言調査が、日本における最初の本格的な調査であった。調査方法は、踏査ではなく文書回答形式による調査であったため、正確性については確実な結果が得られているとは言い難く、簡略的なものである。しかしながら、全国を網羅した初の調査は後の調査・研究への布石となった。

その後の方言研究の転換点は、昭和に入り柳田國男が、各地のカタツムリの呼び名の方言分布を比較検討することで、言葉が近畿から地方へ伝播していったことを明らかにした『蝸牛考』[iv]を1905（昭和5) 年に刊行し、「方言周圏論」を説いたことである。

以降は、鈴木重光による『相州内郷村近傍方言』[v]、太刀川総郎の研究をまとめた赤星直忠による『三浦耳袋』[vi]などの諸氏による研究が多く行われたが、神奈川県の方言に関する研究は、関東において最も遅れていたと考える。

1950 年代に入り、国立国語研究所が、「日本言語地図を作るための調査」を実施し、日野資純・斎藤義七郎による悉皆調査によってまとめられた『日本言語地図』[vii]、『神奈川県方言辞典』[viii]、『神奈川県言語地図』[ix]が、現在の県下における方言の調査・研究の規範となっている。

そして、近年においては、『分類神奈川県方言辞典』（全４巻）[x]が体系的に、県下の方言をまとめたものであるが、茅ヶ崎市域で採集された記録は非常に少ない。

3　神奈川県方言区画と茅ヶ崎の方言の特徴について

諸方言の違いを地理的に区切ることで区画化が可

能となる。音韻と文法の相違による全国的な区分において、神奈川県は西関東方言（群馬県・埼玉県西部・東京都・山梨県東部）[xi]に属する。神奈川県内を区分した場合、当市は高座・戸塚方言に属するとされている。東京のことばの影響が強く、語尾等に「ベー」がつくというが特徴があげられ、また「アカイ」を「アケー」というように、母音を伸ばす傾向がある[xii]。

以下に、茅ヶ崎における言語的な特徴をあげる。

A)　発音・アクセント

ア）意味を強めるための長音化

例）アシタハ　クサカリショウガツ　ダー。[xiii]
（明日は草刈り正月だ）

例）イセキムスメニハ　チッターメヲアカシテオカナキャコマルカラ。[xiv]
（跡取りの娘には少しは目をかけておかないと困る。）

イ）連母音の転訛

[ai]の[eː]への変化。

例）ちがいない→　チゲーネー[tʃiηeːneː]
はいって　→　ヘーッテ[heːtte]

ウ)発音の脱落と転訛

[ru]の[n]への変化

例）のませるの[nomasenno]→ノマセンノ[nomasennno]

エ）発音の付け加え

・促音

例）おかあさん　→　オッカサン[okkasan]

・撥音

例）くる[kuru]　→　クンル（来る）[kunnru]
きのう[kinou]→きんのー(昨日)[kinnouː]

オ）アクセント

特徴的なアクセントはなく、東京のアクセント系統に属する。

（●:アクセント部分、○:他の音と同じに発音する部分）

メ（目）	●
アメ（雨）	●○
アタマ（頭）	○●●
ハタケ（畑）	○○○
ツクル（作る）	○●○

B)　文法

ア）形容詞

人間の気持ちやモノの状態を表現する言葉の場合、語尾を変化させたり、別のことばがつく。

例）小さい　→　コマッケー

例）古い　→　フリー

イ）形容動詞

モノの状態や性質をあらわすことばを「ダ」で言い切る特徴がみられる。

例）まとも　→　マッチョウダ

ウ）動詞

動詞＋否定の助動詞（ない）の場合、語尾に「ネー」が語尾につき、その直前の音がア段の場合、イ段の場合の変化は規則性を見出すことができる。

例）イ[カ]ネー（行かない）

オ[キ]ネー（起きない）、ミ[ネ]ー（見ない）

上記の変化を元に活用を類推することができる。

例）シル（する）、シロ、シ（〜テ・〜タ）、シ（〜ネ）、シリャー
クル（来る）、コー、キ（〜テ・〜タ）、コ（〜ネ）、クリャー

以上のように、発音やアクセント、文法といったもの特徴を概観した。本項目は、さらなる探究、吟味が可能であり後学の徒を期待したい。

4　茅ヶ崎の方言一覧について

方言を研究する場合、訛とされることば、音の変化によるものは「訛語（かご）」といい、全国的に通じる言葉を一部の音が変化した語を「俚言（りげん）」という。体系を図式化すると次のとおりとなる

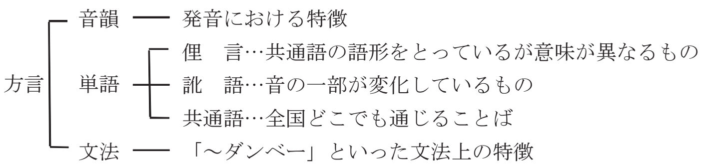

図１　方言体系の概略

本報告においては、上記の体系による分類も検討したが、採集されたものを記録保存するという観点から、便宜的に表1の分類を用いた報告とした。分類については、東條操編「分類方言辞典」[xv]及び「分類神奈川方言辞典」を参考にした。

表1 分類基準

1	自然	天体、天候、陸地、海洋
2	動物	哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類、昆虫、その他の動物
3	植物	樹木、野草、穀物、野菜
4	身体	肢体、容姿
5	生業	農耕、漁労、交易、諸職
6	健康	保健、病気
7	服飾	衣類、見なりなど
8	飲食	食物、食ぐ、調理など
9	住居	屋敷、家屋、家財道具
10	娯楽	遊び、玩具など
11	行動	行動、状況、伝達
12	情	感情、印象、性情など
13	時間・空間	人生儀礼、年中行事、民間信仰など
14	社会生活	日常、家族、交際、人代名詞など
15	その他	上記に分類できないもの

表1の分類に基づき整理した方言を表2に示す。なお、掲載にあたり下記によって掲載した

(ア)意味や音については話者の解説による
(イ)同音でも意味が異なる、解釈が微妙にことなるものは掲載
(ウ)音が近似しているが、わずかな差が認められるものは掲載
(エ)同意義のことばであっても音が異なるものは掲載
(オ)いわゆる共通語にあたるものも掲載
(カ)方言の採集地について不確定な部分があるため掲載しない

5 おわりに

本報告は、郷土史家の方々の調査、茅ヶ崎市文化資料館の民俗調査活動の中から採集されながらも研究がなされていなかった「方言」という切り口で再整理を試みたものである。今後、言語学、民俗学の観点からより詳細な研究がなされることを期待する。

現代社会において、情報の伝達速度は加速度を増すばかりであり、人がモノやコトを伝える「ことば」の変化はめまぐるしい。また、国内規模、地球規模で刻々と言葉は更新され、生成されていくため、地域の空間性や時間性が失われ、画一化・均一化が進んでいるように感じる。茅ヶ崎のことばである「方言」は、この大地で自然と対峙し、時代・地域社会の中で生まれ、影響を受け、変化してきた、茅ヶ崎の人々の心意が表象化したものの一つであると考える。これらを記録保存することにより、この地でくらしてきた人々の記憶を次世代に継承することができればと考える。

【参考文献】

「日本民俗大辞典」吉川弘文館, 1999
「日本列島方言叢書⑥ 関東方言考②」ゆまに書房, 1995
「茅ヶ崎市史資料集第三集 茅ヶ崎地誌集成」茅ヶ崎市, 2000
「資料館叢書5 柳島郷土誌」茅ヶ崎市教育委員会, 1979
「資料館叢書 6 茅ヶ崎の伝説」茅ヶ崎市教育委員会, 1981
「茅ヶ崎市史3 考古・民俗編」茅ヶ崎市教 育委員会, 1980
「茅ヶ崎町鶴嶺　郷土誌」茅ヶ崎市教育委員会, 1976
山口金次「茅ヶ崎歴史見てある記」茅ヶ崎市教育委員会, 1978
「香川の歩み」香川自治会, 1978
「資料館叢書11 南湖郷土誌」茅ヶ崎市教育委員会, 1995

あしかび郷土史研究グループ「田の字の家」茅ヶ崎市教育委員会, 1994
あしかび郷土史研究グループ「としよりの話」, 2000

---

i 日本古典文学大系「万葉集四」岩波書店,1962
ii 日本古典全書「源氏物語(六)」岩波書店,1976, pp233-234
iii 岩波書店,1941
iv 刀江書院,1930
v 鈴木重光,1932
vi 太刀川総司郎氏遺稿集,1972
vii 国立国語研究所,1966
viii 日野資純・斎藤義七郎編,1965
ix 神奈川県立博物館, 1979
x 神奈川県立歴史博物館,2003
xi 上村幸雄「講座方言学 1」国書刊行会,1986
xii「分類神奈川県方言辞典(Ⅰ)」神奈川県立歴史博物館,2003
xiii 1886(明治 19)年生、1977 年採集
xiv 1893(明治 26)年生、1978 年採集
xv 東京堂,1954

＊茅ヶ崎市教育委員会社会教育課
茅ヶ崎市文化資料館

表2 茅ヶ崎の方言一覧

1 自然

分類	音	意味
1	アカ	海水
1	イナサ	東南の風
1	イナサ	南西風
1	イナサ	南東風
1	イナサ	東風
1	オーミズ	洪水
1	オカ	陸
1	オシメリ	雨
1	オソメリ	雨
1	カーッペリ	川べり
1	カアラ	河原
1	カシマ	東に流れる潮
1	カンダチ	雷
1	カンダチ	夕立
1	カンダチ	夕立
1	カンダチ	雷雨
1	キツネアメ	日が照っているのに小雨が降る
1	キツネノヨメイリ	日が照っているのに小雨が降る
1	クサボッコ	草むら
1	クボッタマリ	くぼ地
1	クボッタマリ	じめじめした低い土地
1	クランジャツタエー	空が暗くなった
1	ケーガラ	貝殻
1	ケバアメ	霧雨
1	コゲラ	このあたり
1	コサ	木の陰
1	コチ	春の東風
1	コッチョー	こちらを
1	ゴロゴロサマ	雷の幼児語
1	サーケ	波のしぶき
1	サンカチ	西北の風
1	シオテ	みぞれ
1	シケ	嵐
1	ジビタ	地面
1	シボレミズ	しぼり水
1	セコル	潮が引く
1	ソッパクデンヂ	地味の悪い土地
1	タッカ	入道雲
1	タッペ	霜柱
1	タッペン	つらら
1	ツルシンボウ	つらら
1	ツルル	つらら
1	ドテ	崖
1	ドブジオ	潮が止まっていること
1	ナムロ	波の様子
1	ナモト	波打ち際
1	ナライ	北風
1	ナライ	冬の寒い風
1	ナレー	北風
1	ニシ	西風
1	ネ	岩礁
1	ハカ	うね
1	フシブシ	季節の変わり目
1	ブッツケ	川の流れが急で曲がっているとこ
1	フヨ	冬
1	ホキル	繁茂
1	マサ	堅い土
1	ユーマズメ	日没時
1	ユーヤ	湯屋
1	ユハ	岩
1	ヨーキ	天気
1	ヨガラヨッピテ	一晩中
1	ヨロ	夜
1	ワシオ	西へ流れる潮
1	ワンド	入り江

2 動物

分類	音	意味
2	オコサマ	蚕
2	オトコオンジョ	雄のギンヤンマ
2	オンジョ	オニヤンマ、ギンヤンマなどの大型のトンボ
2	オンナオンジョ	雌のギンヤンマ
2	カール	蛙
2	カガミッチョ	トカゲ
2	ガシャ	くつわ虫
2	カミキリ	カミキリムシ
2	ギヨ	キリギリス
2	クダリ	産卵のために下ってくるアユやウナギ
2	ケーコ	蚕
2	ケームシ	毛虫
2	ケール	蛙
2	コンマ	子馬
2	サジ	約40グラム以上に成長したウナギ
2	シコ	カタクチイワシ
2	シッペタ	尾
2	センミ	蝉
2	ソーダ	ソーダカツオ
2	タツブ	タニシ
2	タツボ	タニシ
2	チキチン	手長エビ(松尾川にたくさんいた)
2	ヂョヂョウ	ドジョウ
2	テー	鯛
2	デンデンムシ	カタツムリ
2	ドバト	山鳩
2	ナガムシ	蛇
2	ナメクジラ	ナメクジ
2	ネションベン	魚の名前。根付きの魚で腹を裂くといやな臭いがする。和名は不明。
2	ヒコ	シコイワシ
2	ヘー	蝿
2	ヘービ	蛇
2	ヘッピリ虫	ヨメムシ
2	ボウフリ	ボウフラ
2	マトリ	カツオドリ
2	マンダラ	カツオ
2	メメゾ	ミミズ
2	モッタガニ	モクズガニ
2	モロアジ	鰺

3 植物

分類	音	意味
3	オンバク	オオバコ科オオバコ
3	カッパ	(刈っぱ)麦の切り株
3	カツンボ	正月のケズリカケを作るウルシ科のヌルデのこと。
3	カフッチ	株
3	カンジューロク	マメ科エンドウマメ。寒さを通ってくるからといわれる。11月末ごろまでに蒔くとよいという。
3	キ	茎
3	キヤキ	けやき(欅)
3	クサノハナ	キク科ヨモギの出始めのもの。
3	ケトバシ	株
3	コーノハ	モクレン科シキミ
3	コーノハナ	モクレン科シキミ
3	コッコ	タケノコ
3	サツメール	さつまいも
3	シデー	脂肪分に富んだ松の木
3	ジャクロ	ざくろ
3	ショウタン	ひょうたん
3	スモートリバナ	スミレ科スミレのことで、花と花を組ませ、引っ張り合って遊ぶ。
3	テンゴッパ	ウコギ科ヤツデ
3	ナルテン	ナンテン
3	ビクニ	マメ科ダイズの一種で、薄い緑色をしているもの。
3	ビヤ	びわ
3	フキボウズ	フキノトウ
3	ヘー	稗
3	ヘボソ	サトイモ科カラスビシャクの花
3	ホキタ	良く育った(植物全般に使う)
3	ホキル	(植物が)育つ
3	ホッポ	穂
3	ムコダマシ	搗くと白くなる栗の一種。
3	モチグサ	よもぎ

4 身体

分類	音	意味
4	オボゲ	産毛
4	カッテ	片輪者
4	キチゲー	精神に異常をきたした人
4	ケツ	尻
4	ケツメド	肛門
4	ケバ	毛
4	スネッポウ	脛
4	セート	背
4	チビッチョ	小さい子
4	チャンカイ	丈の短い人
4	チンチラゲ	ちぢり毛
4	デンボウ	肛門
4	ハッカケ	歯欠
4	フーテー	風体
4	ヘゲ	ひげ
4	マミヤ	眉毛
4	ムネータ	胸部

4 身体

分類	音	意味
4	メノクリダマ	眼球
4	メボシ	ものもらい
4	モジャー	あばた
4	モモッタ	股
4	ヤマアラシ	髪に対する形容

5 生業

分類	音	意味
5	アカツキ	日の出前の地曳網
5	アサズクリ	朝作り
5	アサデ	日の出頃から午前中の漁
5	アサドリ	日の出時のボーケ網漁
5	アタマッパリ	経費を等分に負担する
5	アラク	開いた田畑
5	ウソッコ	練習
5	ウント	沢山
5	エゴミ	水出にたまる土
5	エンベツ	鉛筆
5	オカ	農業、畑仕事
5	オカゲ	水周りの悪い田
5	オタカラ	お金
5	カシヤ	精米所
5	カッパ	稲の切株
5	カラウス	もみ摺り臼
5	カリアゲ	全部刈り入れ
5	カンゴ	籠
5	キケー	機械
5	キビッチョ	木の切れ端
5	ケーガン	海岸
5	ケーダシ	田んぼに柄杓で水をまくこと
5	ケーップ	貝笛
5	ケープ	法螺貝
5	ケップ	ホラ貝
5	ケヘー	生育状態(農)
5	コキアゲ	稲を全部こき終る
5	コゴレ	土のかたまり
5	コジル	土をよく落とすこと
5	ゴセーガデル	精が出る
5	コッパ	木のきれはし
5	ザール	ざる
5	サシコ	ひよこをいれるかご
5	サナブリ	田植えの祝い
5	シッコク	稲をこく
5	シャカン	左官
5	ジンダンゴ	鯵の子
5	スクモ	籾がら
5	スラ	船を浜に揚げ下げするとき敷く木製の道具
5	セーショ	働き者
5	センバ	麦、稲こきの道具
5	ソーダ	鰹の一種
5	ターラ	俵
5	ダゴイ	堆肥
5	ダラセン	二銭銅貨
5	チャッコザル	小さいざる
5	ツクテ	堆肥
5	ツメッカキ	カーボン紙
5	デーク	大工
5	デーコ	大根
5	ドウシンボ	とれた魚を私すること。ブリ網などで行なわれた。
5	ドーゴ	漁具
5	ドーシンボ	漁師が獲物を私用
5	トコバ	床屋
5	トバ	(苫)ヨシで編んだ覆い。漁船漁具に用いた。
5	トバ	帳
5	トンキチ	金槌
5	ナーシロ	苗代
5	ナエバ	苗代
5	ナエマ	苗代
5	ナグラ	魚群
5	ナブラ	魚群
5	ナブラ	魚群
5	ニネー	二人で担う漁業用桶。担い桶
5	ネー	苗
5	ネーマ	苗場
5	ネノコ	稲の初穂の時
5	ネンジン	ニンジン
5	ノゲー	野越え
5	ノッコ	網元、船元に従事する漁師
5	ノラ	田畑
5	バイスケ	砂をかつぐに使う笊
5	ハタアシ	はた機械
5	ハバ	海苔
5	ハマ	漁
5	ヒキコ	地曳網の従事する人。主として網を曳く人
5	フグツ	藁籠
5	マネ	大漁の場合、舟に立てる目印の旗。
5	マメッタイ	よく働く人
5	マンダラ	丸ソーダ鰹
5	ミシロ	むしろ
5	ミズガツク	水にぬれる
5	メセル	店
5	メンツー	小型のおひつのような格好の漁師の弁当箱
5	ヤマ	畑
5	ヨーデ	午後に行なう地曳網
5	ヨーデ	午後に行なう地曳網
5	ヨードリ	日没時のボーケ網
5	ワタ	魚の腸
5	ワッパサミ	割りばさみ

6 健康

分類	音	意味
6	オッタレタ	そそうした。寝小便の時にいう。
6	ゲス	大便
6	ゲロ	吐瀉物
6	ゴーノー	体の自由
6	シンダンジ	死骸
6	ダリー	だるい
6	ヂデンボ	痔
6	ヅネー	体力・腕力等が強い
6	ネションベン	寝小便
6	ホトケ	死体
6	メッポ	ものもらい

7 服飾

分類	音	意味
7	カバタリ	変な身なり
7	カラガル	糸のもつれ
7	キモン	着物
7	シノマキ	木綿糸を取る時に用いるメダケの細い棒。
7	ショイゴザ	ござで作られた雨具。
7	ショイタ	ござで作られた雨具。
7	セーフ	財布
7	タケナガ	細長い和紙で作った元結の一種。
7	チャンコ	ちゃんちゃんこ
7	チャンチャン	袖なし
7	チャンチャンコ	袖のない着物
7	テネゲー	手拭
7	テレゲ	手拭い
7	ニヤハン	似合わぬ
7	ノノコ	布子
7	ハタシ	機織り機
7	ハナムスビ	足の裏に半分ほどかかるだけの短い藁草履で、前緒の結び目がが指の上に出ている。
7	ハンカモノ	チグハグな人目を引く服装を平気でしている人
7	ヒボ	紐
7	フットバシ	着物の上に長襦袢をそのまま羽織ること。
7	フルシキ	風呂敷
7	ボウタ	漁師の仕事着
7	ボータ	ぼろの着物。
7	ポーポー	筒袖
7	マアス	升
7	マータ	真綿
7	メーカケ	前掛け
7	メーカケ	前だれ
7	メカス	おしゃれする
7	モーロクズキン	防寒用にかぶる頭巾。
7	ユビハメ	指輪
7	ヨソロ	装る

8 飲食

分類	音	意味
8	アサヅクリ	朝飯前の一仕事
8	アブラダンゴ	稗の団子。昔、朝の暗いうちに行燈の明かりでこれを食べ仕事に出かけたので、この名がある。
8	アワップカシ	もち粟(餅をつくる粟)で炊いた赤
8	ウダル	ゆであがる
8	ウメー	美味

分類	音	意味
8	オーマクレ	大食い
8	オキアガリ	漁を終えてから船元が出す慰労と打ち合わせを兼ねた食事
8	オコジュー	午後3時頃の間食。
8	オコジュウ	14時頃の食事
8	オコジュウ	3時の間食
8	オコヂョ	おやつのこと
8	オチャオケ	お茶菓子
8	オチャヅケ	冷飯
8	オッポン	しゃもじ
8	オバク	大麦を炊いて、練ってつくる。米代わりの昔の主食
8	オハチ	飯びつ
8	オヒル	11時頃の昼食
8	オボタ	牡丹餅
8	オマンマ	ご飯
8	カッコム	急いで飯を食う
8	カツブシ	鰹節
8	ガンガラ	かん詰のから
8	カンジュウロク	さやえん豆
8	コガシ	麦こがし
8	コジ	里芋の子
8	コジハン	午後3時頃の間食。
8	コヂュハン	お三時のこと
8	コツケダンゴ	麦の粉を練ってふかして小豆の餡をつけたもの
8	サケックレー	酒呑
8	ザルソバ	小料理屋
8	ジゼンモチ	粟餅
8	シャジ	サジ
8	シャモ	鳥肉
8	ショッパレー	塩からい
8	スズ	徳利
8	ステキン	芋団子
8	タコノアシ	大根の根元を残すように細切りにし、木の枝に引っ掛けて干し、醤油漬けにしたもの。干している状態がタコの足のように見える。
8	タバケーレ	煙草入れ
8	チギリダンゴ	練った小麦粉を指でちぎって作った団子。砂糖をつけて食べたり、汁に入れて食べる。
8	ツキブリ	そば粉をふるう箱型の篩。
8	ツメダル	魚の内臓を入れて腐らせ肥料をつくる樽
8	ツレエ	辛い
8	テー	鯛
8	ニガシホ	にがり
8	ニクタラガシ	とける程煮る
8	ニッコロガシ	里芋の丸煮
8	ネーコジレ	煮えそこない
8	ネーコジレ	煮え損ない
8	ノス	餅などのばす
8	ハナダンゴ	よもぎ餅
8	ハリツカ	紙を張った器物
8	ヒーダンゴ	稗の粉で作った団子。
8	ビツ	汁
8	ヒバ	大根の葉を干して作った保存食。
8	ベンケー	串焼きの魚をさしておくための苞（藁を束ねたもの）
8	メンツウ	弁当桶
8	メンツー	曲げもので作られた弁当箱
8	ヤキガラシ	小魚を焼き、干して乾燥させたもの。それを味噌に混ぜて食べたり、だしにしたり甘露煮などに使っ
8	ヤセク	夜食
8	ヨーメシ	夕飯
8	ヨゴレメシ	混ぜご飯
8	ワッパ	曲物

9 住居

分類	音	意味
9	アタインチ	私の家
9	アバラスドウ	あばら家
9	アマジャチャキ	雨だたき
9	エンガ	縁側 廊下
9	エンディ	縁台
9	オザ	席
9	オトコベヤ	農作業する使用人の男衆が寝泊まりする部屋。
9	オヒョウゴ	掛軸
9	オブウ	お風呂
9	オラガ	私の家
9	オラッチントコ	私の家
9	オランチ	私の家
9	オランチ	私の家
9	カアラ	瓦
9	カーラケ	素焼き
9	カナダレー	金だらい
9	ガンガン	ブリキの空罐
9	キジリ	いろりの下座
9	キビア	薪を入れ置く小舎
9	クズカキ	松葉掻き
9	クズッカキ	松葉掻き
9	クヅカキ	落ち葉拾い
9	クデ	屑
9	クド	火を焚くところ
9	クネ	生垣
9	コエツビ	焚火
9	コーカ	便所の建物又は汚物を入れる小屋をも言う
9	コッピ	たき火
9	シ	火
9	ジエン	土地を分けた家
9	シセキ	家のまわりを覆い隠すように植えられた樹木。防風、防火の役を果たす屋敷林。
9	スイホロ	据え風呂
9	ズシ	草葺き屋の屋根裏の空間
9	ズシ	天井
9	セド	家の裏手
9	タテメー	上棟式
9	タレー	たらい
9	チョウズバ	便所
9	ヂンギョウ	地固め
9	ヅシ	屋根裏
9	デー	縁台
9	デー	奥の間
9	デー	台
9	デーコクバシラ	大黒柱
9	トウスミ	ランプの灯心のこと
9	ドブ	下水
9	ドロスケ	どろ坊
9	ニーヤ	新家
9	ニワ	土間
9	ネコ	畳
9	ネダ	床板
9	ヒドーコ	火床
9	フミデー	踏台
9	ブンブー	湯
9	ヘー	灰
9	ヘー	塀
9	ヘーリグチ	入り口
9	マチ	マッチ
9	ムル	雨が漏ること
9	メー	前の家
9	ヤゴ	夜具
9	ヤットコ	釘抜き
9	ユキ	薪割り
9	ユルリ	囲炉裏
9	ヨコザ	長火鉢の上座

10 娯楽

分類	音	意味
10	イッコ	お手玉
10	イッセッセ	遊びの歌の出だしことば
10	イッチャラホイ	おはじき
10	イッチョウギリ	おはじき
10	イッチョデホイ	おはじき遊びの文句
10	エノゴ	絵の具
10	オイチ	毬つきの一種
10	オイッコ	お手玉
10	オシート	お手玉
10	オッペゲス	（メンコで相手のメンコを）裏返す
10	オニッコ	鬼ごっこ
10	カケックラ	かけくらべ
10	クシャム	上がった凧が安定しないで回ったり横になったりすること。
10	コロツキ	羽根つき
10	サイトウ	左義長

分類	音	意味
10	シカ	凧がたって、垂直に近い状態になること。
10	シッケン	じゃんけん
10	ジッケン	じゃんけん
10	ジッケンコイ	じゃんけんの掛け声。
10	ジッコロ	片足とび
10	シバヤ	芝居
10	シャミセン	しゃみせん
10	タケンマ	竹馬
10	テーコ	太鼓
10	テングルマ	肩車
10	トヅル	凧のうなり
10	ネーゴ	御手玉
10	ノベツマクナシ	田舎芝居
10	ハリッカ	張子
10	ビンコロ	さいころ
10	フザケッコ	子供の遊び
10	フヨフキ	笛吹き
10	フンコ	本式、本気　メンコなどを賭けでやること
10	ベタナギ	全くの凪
10	ホンコ	本式、本気　メンコなどを賭けでやること
10	マーリ	毬
10	ヨタカ	夜遅くまで遊び回っている人

11　行動

分類	音	意味
11	～ド	(動詞・形容詞)～ぞ
11	アーブクした	溺れた
11	アカセル	教える
11	アカセル	知らせる
11	アタスル	悪さをする
11	アタヲコク	悪戯をする
11	アバケル	暴れる
11	アバヨ	さようなら
11	アブク	溺れる
11	アラケル	間をあける
11	アンカ	有るか
11	イカザー	いきましょう
11	イカッセー	お出でなさい
11	イキナリ	なげやりにする
11	イクベエヨ	行こうよ
11	イコー	行く
11	イヂキタナシ	食物等に卑しい様子
11	イドコロネ	ところかまわず寝る
11	ウサッター	来た
11	ウサレ	行け
11	ウッチャラレル	捨てられる
11	ウナラカセー	激しく揉め
11	オーネダクミ	重い物大きな物を持つ
11	オキンベーヨ	起きよう
11	オキンベーヨー	起きようよ
11	オサマエル	おさえる。つかまえる。
11	オシマイ	終わり
11	オシマイデゴザイマス	今晩は
11	オッコロブ	転ぶ。
11	オッタレル	～してしまう
11	オッパゲス	はぎ取る
11	オモル	おごる
11	オンマケル	まける
11	カクナス	隠す
11	カシヨウ	誘う、告げ廻る
11	カショッテ	誘いを告げて回る
11	カゼール	数える
11	カックラス	殴りつける
11	カックラセル	なぐりつける
11	カブレル	かせる
11	カメー	かまえ(構)
11	カラクチ	おしゃべり
11	カラッコゼ	(空っ小勢)地曳網を曳くために人が集っているようなことをいう
11	カンゲーロ	考えろ
11	カンナグルゾ	なぐるぞ
11	キケール	聞こえる
11	キケル	のせる
11	キショク	気分
11	キナッタ	来た
11	キネーカ	来ないか
11	キヤ	なんだ(感嘆詞)
11	キャール	帰る
11	グゼル	ぐずる
11	クデー	しつこい
11	クンノム	飲みこむ
11	クンロー	くれろ
11	ケーグル	ひっくりかえる
11	ケーテクレ	元に返してくれ
11	ケーナ	下さい
11	ケール	帰る
11	ケーロ	くれろ
11	ケーンベー	帰ろう
11	ゲスッププリ	ゲス(下肥と灰を混ぜた肥料)を素手で撒くこと
11	ケッ	否定
11	コウヨウ	来れ
11	コー	来い
11	コグ	抜く
11	コゴム	うつむく
11	ゴザッタ	来られた
11	ゴゼーマス	御座います
11	コセール	作る
11	コタール	こたえる
11	ゴッチョウキル	苦労する
11	コラッセーヨウ	いらっしゃいよ
11	ゴランマク	ごたごた
11	コンチャ	こんにちは
11	サキー	先に
11	ササギ	ささげ
11	サックベル	差しくべる
11	サナカ	最中
11	サンクルゲーシ	ひっくりかえる
11	サンダス	差し出す
11	シカシカ	順々に　踏みしめるようにしっかり
11	シチャバチャ	右往左往
11	シッテネー	知らない
11	シッテンカヨー	知りませんか
11	シッパタクゾ	打つぞ
11	シッパル	ひく
11	シテー	したい
11	シネ	しな
11	シネー	～しなさい
11	シネーカ	しないか
11	ジブクル	不服でぶつぶつ言うこと
11	シャベクリ	おしゃべり
11	ジャンカ	ではないか
11	ショウグル	液体が威勢よく飛び出していること
11	ショフ	背負う
11	シリヤシネエ	知らない
11	シロバ	～すれば
11	シンドウヅク	なぐる
11	シンベヨ	しようよ
11	スル	剃る
11	セーショ	勤勉
11	セーッチメー	そう言ってしまえ
11	セチガル	ねだる
11	セチガル	ねだる
11	セツカケル	せきたてる
11	ソーカヨウ	話の合づち
11	タガヘル	束ねる
11	タクル	滴る
11	タクル	したたる
11	タケル	草や木に虫や鳥を止まらせる。
11	チマジル	つねる
11	チョコマカ	よく働く様子
11	ツカメール	つかまえる
11	ツキヨザシ	子どもが留守番すること
11	ツッコロバス	つきとばす
11	ツッタツ	立つ
11	ツップス	伏す
11	ツップス	伏せる
11	ツマシイ	物を大切にする
11	ツンダス	つき出す
11	テクテク	歩き回ること
11	デッポウ	うそ
11	トーッパシリ	遠くの遊びに出る
11	トッカメル	とっつかまえる
11	トッケッコ	交換
11	ドブセ	寝ろ
11	ドブセ	伏せ
11	トメネー	止めない
11	ドモクル	吃る
11	ドヤス	なぐる
11	ドンボース	あざける語
11	ナマケチャー	なまける
11	ナラス	平にする
11	ヌレショボタレ	雨にぬれて弱る
11	ネータ	泣いた
11	ネコジル	寝そびれてぐぜる(主に子供)
11	ネコジレル	眠れないこと
11	ネズッコ	眠らないこと

分類	音	意味
11	ネツイ	熱心
11	ネブタ	眠る
11	ネボロケ	ねぼけ
11	ノサバル	はばをきかす
11	ノス	のばす
11	ノッキッテ	打ちこんで
11	ノッコス	追い越す
11	ノッコム	乗り込む
11	ハエー	早い
11	ハシッケー	すばしっこい
11	バッチラゲッコ	うばいあい
11	バテル	つかれる
11	ハバッタイ	動きがにぶい
11	ハリケー	張り換え
11	ヒカラサス	日陰で乾かす
11	ヒックリケーシ	裏がえし
11	ヒッタクル	強く取る
11	ヒッチャッタ	干しあがった
11	ヒンマクル	まくりあげる
11	ブクスル	溺れる
11	ブクスル	溺れる
11	ブックラス	なぐるおどす
11	ブツケル	突き当る
11	ブッツケル	打ちつける
11	ブッパタク	殴る
11	ブンダス	突き出す
11	フンツブシタ	踏んだ
11	ヘーズル	這いずる
11	ヘール	入る
11	ヘマ	下手
11	ホキダス	哇き出す
11	ボッカリ	ぼんやり
11	ホツキアルク	うろつき歩く
11	ホッポリダス	投げ出す
11	ホッポル	投げる
11	ボナク	号泣する
11	マゴラマゴラ	うろうろ
11	マルク	束ねる
11	ミエン	見える
11	ミメー	見舞い
11	ムシャグル	もぎ取る
11	ムシャグル	もみくちゃにする
11	ムル	漏る
11	メール	見える
11	メセル	見せる
11	モアイ	一緒
11	モコウ	向う
11	モチャゲル	持ち上げる
11	モラッテ	いただく
11	ヤーベ	行け
11	ヤーベー	行け
11	ヤーベー	行こう
11	ヤイ	人を呼ぶ時
11	ヤラッセイ	やってください
11	ヤリサバンネーカ	やらないか
11	ヤンベー	やるべい
11	ヨイトヨイト	押すな押すな
11	ヨソウ	やめる
11	ヨバッテコー	呼んでこい
11	ヨバル	呼ぶ
11	ヨロ	訪れる
11	ラッケナシ	きちんとしていない
11	ワッサケル	わりさける

12 情

分類	音	意味
12	アーヤ	変んだな
12	アクデー	あくどい
12	アケー	赤い
12	アタリキ	あたりまえ
12	アチイ	あつい
12	アチイ	熱い
12	アッケナイ	何のとりえもない
12	アンメイシ	なんでもない
12	アンメーショウ	あるまいし
12	イーカゲン	だいぶ
12	イイチャンカ	いいじゃないか
12	イイベ	よいだろう
12	イキョシタエー	ホッとしたよ
12	イクジネー	意気地なし。
12	イケネー	いけない
12	イゲネーベ	いけないんだろう
12	イレーンナ	色々な
12	イレンナ	色々な
12	ウザッコイ	気味が悪い。いやな感じ。
12	ウサッタヨー	来てほしくない人が来てしまった。
12	ウサリヤガッタナー	来やがったなー
12	ウナッテコイ	早くこい
12	ウルシイ	うれしい
12	ウルセー	うるさい
12	ウント	たくさん、多く
12	ウンナラカシテコー	早く来い
12	ウンマイ	うまい
12	エーカゲン	おおよそ
12	エーコト	偉いこと
12	エカイ	大きい
12	エテー	痛い
12	エレー	偉いこと
12	エレー	多い
12	エレーンナ	色々な
12	エレンナ	色々な
12	オーヨウ	のんきな人
12	オーヨー	そうだ。相手のことばに同意して言うことば。
12	オゼー	ずるい
12	オダアゲル	酒を飲んで威張る。
12	オタコウ	馬鹿
12	オタンコナス	馬鹿
12	オッカネー	恐ろしい
12	オッカネー	こわい
12	オテンタラ	お世辞
12	オテンタラ	お世辞を使う人。おもねりへつらうこと。おべっか。
12	オラエー	おかしいじゃないか
12	ガーット	驚いた時使う
12	ガーット	予想以上に
12	カーラケ	不毛のこと
12	カイイ	かゆい
12	カイショガナイ	やりとげるだけの意地がない。
12	ガキ	児童を罵る語
12	カタ	方。側。
12	カタ	わずか
12	カタナシ	期待外れ
12	カッタリー	疲れた
12	カッタルイ	くたびれる
12	カメーヅラ	からかい
12	カラクチ	おしゃべり。おしゃべり者。
12	カンクリ	手順。手立て。
12	キテー	不思議
12	キメー	気前がよい
12	ギュウ	ひどい
12	キョウコツ	大げさ
12	キワデー	きわどい
12	クイテー	食いたい
12	クゲンダ	大儀だ。苦労だ。
12	クベー	低い
12	クラマシテ	すっ飛んで
12	クレー	暗い
12	クンナ	くれ。下さい。「クンロ」よりていねい。
12	クンロ	くれ。下さい。おくれ。「クンナ」よりぞんざい。
12	ケーナ	ちょうだい(幼児語)
12	ケーモ	全然。打ち消しの意を持つ語とともに使う。
12	ゲーモネー	やりがいがない。やっても無益だ。骨折り損だ。つまらない。
12	ケジリガナイ	あとかたがない
12	ケソケソ	無愛想
12	ケソケソシテイル	無頓着の形
12	ゲッソリスル	いやになる
12	ケブテイ	けむたい
12	ケブリ	様子
12	ゲンナリ	がっかり
12	コー	来い。「来る」の命令形。
12	ゴーズキ	この上なく好き
12	コゴル	もつれる
12	コザッタ	まいった
12	コシッケー	ずるい
12	コッチョー	最上
12	ゴッチョキッチャッタエー	身体的に大変苦労してしまった。
12	コテーランネ	たまらなく良い、または美味のときに言う
12	コトダ	大変だ
12	コマッケー	小さい
12	サートモスレバ	ややもすれば。
12	サーラスレバ	ややもすれば。
12	サッツラ	(面)憎い　とっても憎い
12	サミイ	寒い
12	サンザッパラ	さんざん

分類	音	意味
12	ジコウ	利口
12	シッカリ	たくさん
12	シデー	ひどい
12	シハッカキ	けちんぼう
12	シビー	渋い
12	ジブクル	腕白を言う
12	シャーモンカ	仕方ないではないか
12	シャラクセー	生意気だ
12	ショーガネー	仕方ない
12	シレー	白い
12	シレー	広い
12	ジレッテー	じれったい
12	ススデー	鋭い
12	ススデー	悪賢い
12	ステッケー	極めて大きい
12	ステッペン	一番の頂き
12	ステッペン	てっぺん
12	ストンキャウ	頓狂
12	ズネー	強い
12	ズルイ	ゆるい
12	ズルズルベッタリ	態度不明瞭
12	ズントウ	上も下もない
12	セーセー	気が晴れる
12	セツナイ	苦しい
12	セビル	他人の物をほしがる
12	セメー	せまい
12	ソウダンベー	そうだろう
12	ソラーツケー	ずるくて要領がいいすっとぼけ
12	ソラツケ	うそつき
12	ダッチモネーコト	つまらんこと
12	タマゲル	驚く
12	タマゲル	びっくりする
12	タレネー	足らない
12	タント	沢山
12	タンマリ	たくさん
12	チガー	違う
12	チケー	近い
12	チッチャイ	小さい
12	チット	少し
12	チャコイ	小さい
12	チャランポラン	でたらめ
12	チョックラ	ちょっと
12	チョンノマ	ぞうさもない
12	ヂンダラフム	じだんだふむ
12	ヂンダラフム	じだんだ踏む
12	ツカサ	(1)大きなもの。(2)同種のなかでもっとも程度のはげしいもの。
12	ツッカケ	でたらめ
12	ヅナイ	強い
12	ヅブテー	太い
12	デーキレ	大嫌い
12	デケー	大きい
12	デッポ	嘘
12	デッポー	うそ。ほら。でたらめ。
12	デロスケ	馬鹿
12	テンコモリ	大山もり
12	ドウデー	どうだい
12	トエー	遠い
12	ドーロクヘーロク	似たりよったり
12	トコロトッパチ	あっちこっち
12	ナキンベー	泣き虫
12	ナゲー	長い
12	ナマ	生意気
12	ナマジッカ	中途半端
12	ナレアイ	恋愛
12	ニナッテクレ	手を貸してくれ
12	ヌクテー	暖かい
12	ヌケサク	まぬけ
12	ヌリー	ぬるい
12	ヌレショボレ	びしょびしょに濡れて
12	ネバナ	寝ついて間がない
12	ノボセル	狂おしい
12	ノメッケー	なめらか
12	ハエーナ	早いな
12	ハケ	だめ
12	ハゲチョロ	所々はげそこない
12	ハダッテ	無理に　わざわざ
12	ハラッカーヨッチ	非常に面白い
12	ハンマ	不完全な
12	ヒャッケイ	冷たい
12	ヒャッケー	つめたい
12	ヒヨロタクレ	馬鹿
12	ブイト	無愛想
12	ブキッチョウ	不器用

分類	音	意味
12	フテー	太い
12	フリー	古い
12	ヘノカッパ	何とも思わない
12	ヘバル	疲れる
12	ポカツク	ぽかぽかする
12	ホキル	肥える
12	マチョウ	まとも
12	ミカケネー	見馴れない
12	ミットモネー	見っともない
12	ミヅライ	みにくい
12	ミトーモナイ	見苦しい
12	ムイチ	荒っぽい
12	ムゲー	むごい
12	ムツカムテン	一心不乱
12	ムッツリヤ	人づき合いの悪い人
12	メクサレー	目角のきかぬ人
12	モッタネー	もったない
12	モノグサ	物笑い
12	モンケー	いやだ
12	モンジャクレル	(糸が)もつれる。
12	ヤーデラ	嫌だ
12	ヤカマシイ	うるさい
12	ヤクテーモナイ	つまらない
12	ヤジッカラゲ	かんじがらめ
12	ヤジッカラゲ	むだなしばり方
12	ヤッカム	ねたむ
12	ヤッケーモッケ	厄介
12	ヤロードモ	あざける語
12	ユーカイ	愉快
12	ユタブル	動揺する
12	ヨイトヨイト	押すな押すな
12	ヨウエー	弱い
12	ヨカンベー	よいだろう
12	ヨカンベー	よいだろう
12	ヨクドーシイ	欲深い
12	ヨバル	招待する。
12	リコーモン	利口者
12	レーレート	大げさ
12	ワラタカショ	笑わせやがる
12	ワリー	悪い
12	ワリーナー	厚意に感謝する言葉

13　時間・空間

分類	音	意味
13	アサッパラ	早朝
13	アッケーラ	あの辺
13	イキミタマ	父母に感謝する行事
13	イチンチジュー	一日中
13	イツノカマニカ	いつのまにか
13	オサンゴ	散供
13	お月さまケーラッセー	十五夜のお供え物をくださいな。(十五夜の夜、子供たちはこう言って家々を回った。
13	オヒョウゴ	掛軸
13	オンジ	結婚しないで一生家にいたもの
13	オンバ	結婚しないで一生家にいたもの
13	カニババ	胎児の便
13	キンノ	昨日
13	ゴシューギ	婚礼
13	ゴロゴロサマ	雷様
13	サケー	境
13	ザトウ	お化け・目一つ小僧
13	シンタク	分家
13	セート	サイト払い
13	セツ	季節
13	タンダイマ	たった今
13	デンブク	法華のたいこ
13	トリアゲ	産婆
13	ネゲエ	願い
13	ネネダキ	出産祝い
13	ハナジョロ	花嫁
13	バンガタ	夕方
13	バンゲ	夕方　晩げ
13	ヒアサッテ	明々後日
13	ヒキモノ	引き出物
13	ヒトッキリ	少しの間
13	ヒネ	古いこと
13	フシブシ	季節の変わり目
13	ホトケノミカタ	死人の親戚・身内
13	マーダ	まだ
13	マッテン	真上
13	ミモチスル	妊娠する
13	ミモチニナル	妊娠する
13	メエ	前
13	メーアサ	毎朝
13	メーンチ	毎日

分類	音	意味
13	モノビ	ハレの日
13	モレーショウガ	貰い正月
13	モレーショウガツ	(貰い正月)正月は休日のこと。村中で漁業、農業を休む日を部落長に願い出て認めて貰った休日。
13	ヤマ	ネ(海中の岩礁)などの位置を知るために海上から見る山や高木。大山や小和田の大タブノキなどがヤマにされた。ニヶ所のヤマを当ててその場所を判断する。ヤマアア
13	ユーベシガタ	昨日の夕方
13	ユーマズメ	日没時
13	ユエー	祝い
13	ユンベ	昨夜
13	ヨガラヨッピテ	一晩中
13	ヨガラヨッピテー	一晩中
13	ヨドーシ	一晩中
13	ヨメゴ	嫁
13	ヨメッコ	嫁
13	リュウコシ	龍吐水
13	リョウモレエ	両養子
13	ルイガネー	同類がない
13	レーゲツ	来月
13	レーネン	来年
13	ワキャナイ	たちまち

14 社会生活

分類	音	意味
14	アタ	仇
14	アニイ	兄
14	アネゴ	姉
14	アマッコ	女子
14	アマッタレ	あまえる子供
14	アンチャン	兄さん
14	イセキ	家のあととり
14	イセキ	長男
14	イセキ	長男
14	イセキムスメ	跡とり娘
14	ウヌ	汝
14	ウヌシ	汝
14	ウヌラ	お前
14	ウヌラ	お前　おまえら
14	ウヘラー	汝等
14	エー	ごく親しい人への呼びかけ言葉
14	エーヌシワケーシュー	家主若い衆
14	オイラ	私たち
14	オウツリ	返礼
14	オオマクライ	御飯をたくさん食う人
14	オカー	母
14	オッカー	母
14	オッカサン	お母さん
14	オトウト	次男以下
14	オトコシ	(男衆)男の使用人
14	オトッタン	お父さん
14	オトッチャン	お父さん
14	オマハン	お前さん
14	オメータチ	お前達
14	オメッチ	お前達
14	オメッチャー	お前達
14	オラシ	俺は
14	オラッチ	俺達
14	オラッチャー	俺達は
14	オレッチャ	俺達は
14	オンガー	自分
14	オンナシ	(女衆)女の使用人
14	オンナシ	女衆
14	ガキ	子供
14	カッカ	妻
14	カッパラシテ	大至急
14	カンボ	えた
14	キッカリ	ぴったり
14	キテー	(奇態)ありそうに無い
14	ケジリ	あとかたもない
14	コッピ	(小火)小さい焚き火
14	コドメーラ	子供達
14	コナタ	私
14	コロ	子
14	ジテー	自体
14	シヤ	ケチ
14	シュン	適期
14	ショウタクレ	馬鹿者
14	ショセーナシ	暇人
14	ショッチュー	ちょいちょい。たびたび。
14	シンヅイ	親類
14	スグジ	三尺以下の細い道
14	スス	いたずら者。
14	スス	ちょこまか機敏で悪ガキ
14	ズツナシ	なまけもの
14	セナ	兄
14	ゼンテー	全体
14	ソケーラ	その辺
14	タカガシレ	わずか
14	チャンポン	交互
14	ツケー	使い
14	ヅツナシ	無精者
14	テーセー	体裁
14	テメー	お前
14	テメー	お前
14	トッチャン	父
14	ナメー	名前
14	ニッチャン	兄
14	ノヤッポ	田舎物と卑しむ語
14	ノリ	共同
14	バカノツカサ	大馬鹿者
14	ハリツカ	雨をこわがる人
14	ヘーテー	兵隊
14	ヘソクリ	内証金
14	ホラ	嘘
14	ボンクラ	ぼんやりした人
14	ミンナント	皆と
14	メヌギ	目抜き
14	メロウ	女郎
14	モエー	共同
14	モエー	共同
14	ヨータシ	使い
14	ヨタカ	夜遅くまで遊びまわる人
14	ヨタカ	夜遅くまで遊びまわる人
14	ヨリエー	会議
14	ロクデナシ	やくざもの
14	ワイラ	お前たち
14	ワイラー	汝等
14	ワケーシ	若い者
14	ワシ	私
14	ワショ	私を
14	ワタクシ	内証金
14	ワタシ	私
14	ワッチ	私
14	ワリャ	汝は
14	ワレ	汝
14	ヲメー	お前達
14	ヲンチ	年取って妻とならぬ人
14	ヲンバ	年取って妻とならぬ人

15 その他

分類	音	意味
15	～ベー	べし
15	アリシタゲ	ありったけ
15	イージャンカ	いいではないか
15	キーレー	黄色
15	クソッコナシ	頭ごなしに
15	ケーグン	海軍
15	ケブ	煙
15	ゴランミャケーシチャッテル	めちゃくちゃになっている
15	サー	それで
15	サートモスレバ	ややもすれば
15	サアラバ	やたらめったら
15	サキッポ	尖端
15	シッカリ	たくさん
15	ジャンカ	ではないか。
15	ショッテッパナ	一番始め
15	ショテ	一番はじめ
15	シレー	白い
15	シンゾ	新造
15	セエバン	裁判
15	ソーダンベー	そうだろう
15	ソックラ	すっかり　全部　ねこそぎ
15	ソリャ	それは
15	ソレヨカモ	それよりも
15	チッター	少しは
15	テバ	と言えば
15	テパ	と言ってるのに　と言えば
15	トコロッパシ	あっちもこっちも
15	ナンデ	なぜ
15	ノージ	ききめ
15	ノーノー	さっぱり
15	ノベタラ	絶間なく
15	ハダッテ	わざわざ
15	バタバタ	自動自転車(原動機付自転車)

分類	音	意味
15	ハンケイ	半分
15	バンタビ	度々
15	ヒッター	乾いた
15	ヒヨーグル	水が細くでる
15	フンコ	本式
15	フント	本当
15	ベッタラ	べた一面
15	ホソッコ	細ひも
15	マーヨク	談話中に出ることば
15	ムケー	向かい
15	メッケーモン	掘り出しもの
15	メツボーケー	法外
15	ヤッパシ	やはり
15	ヨクセキノコト	真にやむをえない
15	ヨンド	どうしても
15	ロクサッポ	ろくに